

# ● みなとづくり

## 1 クルーズ観光の拡大による地域経済の活性化

問合せ先 港湾課

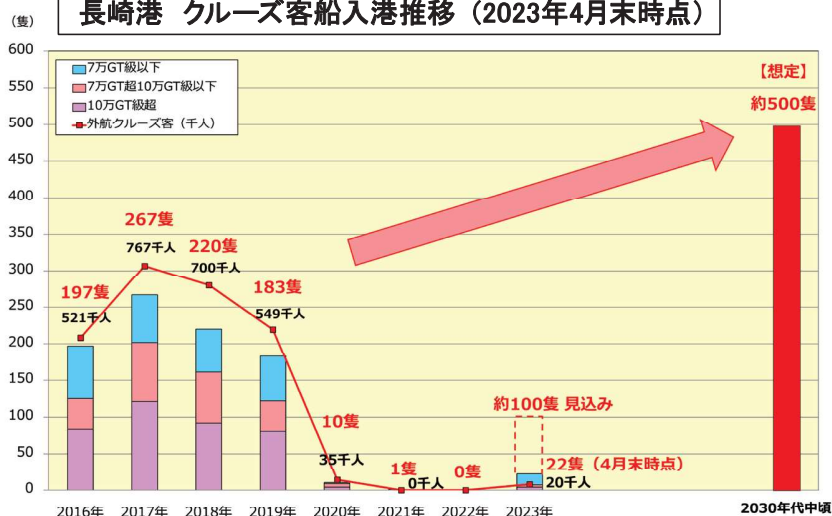
### ● 国際クルーズ船受入による「みなとまち長崎」の賑わいの復活へ！

新型コロナウイルスの感染拡大により寄港できない状況が続いていた国際クルーズ船が、2023年3月16日に約3年ぶりに入港しました。

2023年は、長崎港で100隻程度の国際クルーズ船の入港が予定されており、4月末時点で全国トップクラスとなる22隻の国際クルーズ船を受入れ、コロナ禍前のみなとの賑わいが取り戻されつつあります。

アフターコロナを見据えたクルーズ船社へのヒアリングでは、「長崎港は主要な寄港地であり、これまでどおり長崎港に寄港したい。」との考えを示されており、今後も多くのクルーズ船による賑わいの創出が期待されます。

長崎港 クルーズ客船入港推移 (2023年4月末時点)



2023年3月16日 Europa2 42,830総トン (コロナ禍後の国際クルーズ船初入港)



### ● クルーズ観光による地域経済の活性化に向けた受入環境の整備

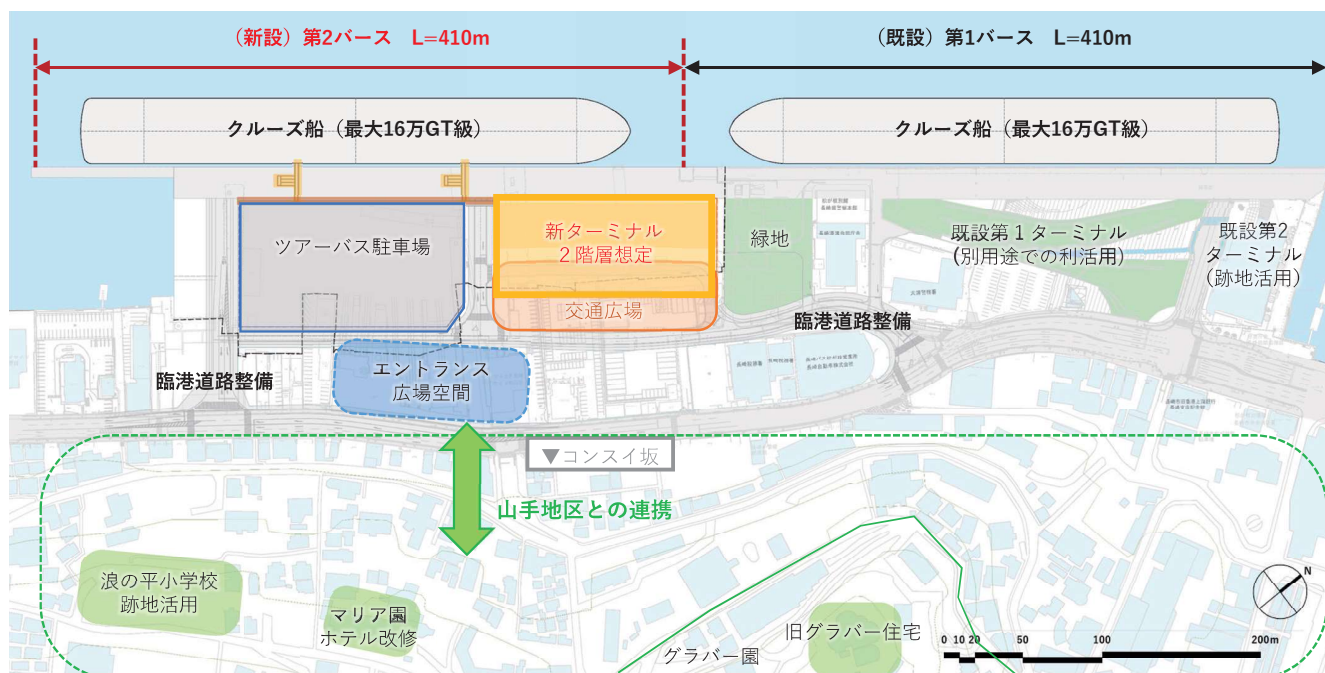
① クルーズ船の大型化や寄港需要の増加に対応するため、各地区で港湾施設機能の充実を図っています。





② 地域経済の活性化に向け、「長崎港松が枝地区旅客船ターミナル整備事業」を促進します。

クルーズ需要の増加およびクルーズ船の大型化に対応するため、岸壁を410m延伸し、旅客ターミナル、ツアーバス駐車場を整備することで、更なるクルーズ船の受入拡大を目指します。あわせて、周辺の道路や緑地、エントランス・広場空間などを整備し、山手地区へ観光客を呼び込むなど、“みなとまちづくり”を促進し、地域経済の活性化を目指します。



クルーズ船のお見送り（松が枝岸壁）



寄港地観光（長崎新地中華街）



③ 更なるサービス向上を目指し、PPP／PFI（官民連携）事業の導入を推進します。

PPP（Public Private Partnership）・・・公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行い、効率化等を図ること。

PFI（Private Finance Initiative）・・・公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。

【導入目的】

- 民間事業者ノウハウの導入や民間事業者による一体的な自主事業の実施を促すことでクルーズ旅客やクルーにとって、来訪満足度の高い受入体制を整える。
- 施設の利活用や土地の有効活用により、観光客だけでなく、周辺利用者へのサービス力を向上させ、地域全体の賑わい創出に繋げる。
- 設計・施工・管理一体型によるコスト縮減効果や、長期的な運営による質の高いサービスを提供する。



## 2 離島・半島等の暮らしを支える地域交通の確保

問合せ先 港湾課

離島と本土等を結ぶ定期航路の安定的な海上運輸活動を支え、安全・効率的で利便性が高いみなと整備を進めます。

### 郷ノ浦港のJF乗降施設のバリアフリー化（JF用浮棧橋の整備）

※JF=ジェットフォイル

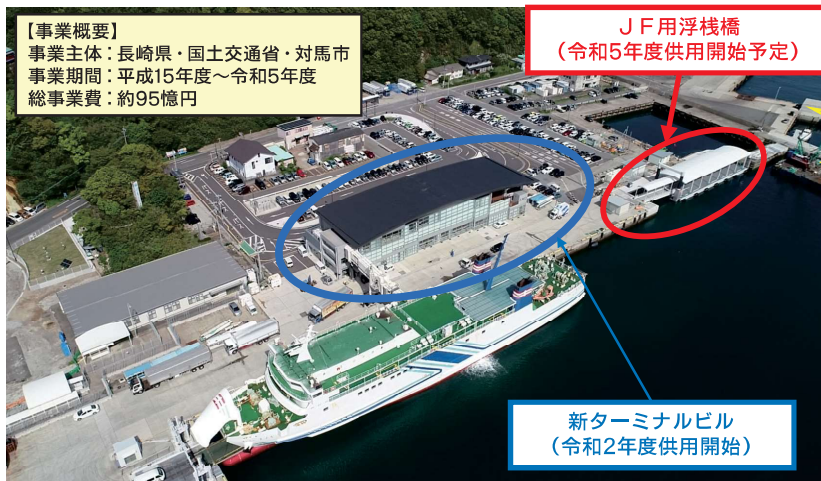


**【事業概要】**  
 事業主体：長崎県  
 事業期間：平成30年度～令和6年度  
 総事業費：約7億円



JF用浮棧橋を整備することで乗降の際の高低差を解消し、バリアフリー化を図ります。

### 厳原港の埠頭再編（旅客埠頭の整備）



**【事業概要】**  
 事業主体：長崎県・国土交通省・対馬市  
 事業期間：平成15年度～令和5年度  
 総事業費：約95億円



JF用浮棧橋を整備することで乗降の際の高低差を解消し、安全な乗降が可能となります。

## 3 国外との交流の拠点となる港湾の整備

問合せ先 港湾課

### 比田勝港における国際定期航路用浮棧橋の整備



**【事業概要】**  
 事業主体：長崎県  
 事業期間：平成30年度～令和7年度  
 総事業費：約8億円



比田勝港国際ターミナル混雑状況

比田勝港は韓国釜山との間に国際高速船が就航しているが、係留バース不足により、国際ターミナルの混雑や高速船の他地区岸壁や洋上での待避係留が発生しているため、浮棧橋を整備することで混雑解消・利便性の向上を図ります。